

八王子市立第五小学校 いじめ防止基本方針

1 いじめ問題に対する基本方針

仲間（チーム）とは、目標に向かって努力し、認め合い、助け合い、励まし合える集団であり、そこにはいじめは存在しない。本校は『仲間（チーム）になろう』を合言葉に、『いじめの存在しない学校づくり』を目指す。

2 主な取組

『仲間（チーム）』になるための4つの柱を重点目標にいじめの存在しない学校づくりに取り組む。

- ・ 仲間（チーム）は、目標をひとつに、みんなで努力する。
 - ・ 仲間（チーム）は、みんなはひとりのために、ひとりはみんなのために動く。
 - ・ 仲間（チーム）の一人一人は、役割を果たす。
 - ・ 仲間（チーム）の一人一人は、最後まであきらめない。
- ① 道徳の時間を要として、教育活動全体を通じた道徳教育を充実させる。
 - ② コミュニケーション能力を高める活動や体験を重視した教育活動を積み重ねる。
 - ③ 学級活動や体育科保健領域を中心に全教育活動で自尊感情を高めるための授業を積み重ねる。

（1）未然防止や早期発見のための措置

- ① 校内教育相談体制での組織的な対応とスクールカウンセラーによる相談活動を充実させ、校内教育相談体制とスクールカウンセラーとの連携を密にする。
- ② ふれあい月間（年3回）に「学校生活を振り返って」のアンケートを実施し、担任が集計・分析し、担任が問題を早期発見・早期対応できるようにする。また、アンケート結果は、担任から校長・副校長に報告する。
- ③ ふれあい月間には、八王子市作成の教材を使用し、いじめ防止のための授業を行う。
- ④ 毎週水曜日（もしくは木曜日）に学校いじめ対策委員会を行い、定期的に児童の情報を共有し、組織的に対応する。学校が認知したいじめのうち、教員、保護者などの周りの大人が強く介入する必要がある事案については、「いじめ認知報告書」を作成し、今後の対応策を本人、保護者へ説明した後、その内容を記載し、教育委員会に提出する。
- ⑤ 年3回特別支援教育研修会を行い、教員のいじめ問題への対応力を高める。
- ⑥ 学校だよりで「ふれあい月間」の取組等について知らせ、家庭や地域とも児童の豊かな心を育む環境を整えられるよう連携していく。
- ⑦ 全校朝会で校長が生命尊重・人権尊重・自尊感情を高める講話をし、その後、各学級で講話の内容について振り返り、児童が「いじめは絶対にいけない」という意識を高められるようにする。
- ⑧ 年度当初、いじめ防止基本方針をHPやお便りで児童・保護者・地域へ周知する。
- ⑨ 子ども見守りシートを活用し、いじめの早期発見に努める。

〔学校いじめ対策委員会の構成〕

校長、副校長、学校いじめ対策委員会コーディネーター、生活指導主任、各学年・みどり学級主任、スクールカウンセラー

(2) インターネットを通じて行われるいじめに対する対策の推進

- ① 児童への情報モラルの指導を徹底するとともに、家庭への注意喚起を保護者会等で繰り返し行っていく。
- ② セーフティ教室でインターネットの安全な使い方を児童の発達段階に応じて指導する。
- ③ 学校非公式サイト等の有害情報の把握に努め、問題のある書き込みに対しては迅速な対応を図る。

3 いじめが発生した場合の対応

- (1) いじめの事実確認を担当、各学年・みどり学級主任、学校いじめ対策委員会コーディネーター、生活指導主任で連携し、学校いじめ対策委員会で徹底して行う。
- (2) いじめを受けた児童又はその保護者に対する支援を担当、校長、副校長、学校いじめ対策委員会コーディネーター、生活指導主任、各学年・みどり学級主任、養護教諭、スクールカウンセラーで連携して行う。
- (3) いじめを行った児童に対する指導及びその保護者に対する助言を担当、校長、副校長、学校いじめ対策委員会コーディネーター、生活指導主任、各学年・みどり学級主任、養護教諭、スクールカウンセラーで連携して行う。
- (4) 必要に応じて、民生・児童委員、子ども家庭支援センター、児童相談所、スクールソーシャルワーカー、医療機関と連絡を取り合い、話し合いの機会をもつ。
- (5) 犯罪行為として扱われるべきと判断される場合は、警察と連携して対応する。
- (6) 教育委員会に報告した事実について、指導及び経過観察したうえで、学校いじめ対策委員会としていじめの解消を判断し、本人、保護者が経過観察の終了を同意した場合「いじめ解消報告書」を教育委員会に提出する。

4 重大事態への対処

- (1) 教育委員会と連携し、事実関係を明確にするための調査を行う。
- (2) いじめを受けた児童及びその保護者に対し、必要な情報を適切に提供する。
- (3) 教育委員会や警察、関係諸機関と連携し、解決に向けて徹底した対応を図る。